

施 政 方 針（概要）

平成19年第2回玉城町議会定例会の開会の冒頭にあたりまして、町政運営に関する基本的な考え方と重点施策の概要について申し述べ、議員各位並びに町民の皆様方のご理解ご協力をいただきたいと存じます。

町長に就任させていただいてから、早や1年を迎えようとしています。議会はじめ町民の皆様のご協力を得て、順調に町政を運営させていただいており厚くお礼申し上げます。

さて、少子・高齢社会の進行や地方分権など、地方自治体を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、町民誰もが将来にわたって真の豊かさを感じることができ玉城町民として誇りを持てる『住民満足度No1のまち』を目指して、町長としての重責を果たしてまいりたいと考えております。

新年度に臨むにあたり、この目標をより強く意識し、町民の生活環境の向上や生活基盤整備の充実を図り、玉城の人柄、土地柄の良さを発展させ、『玉城町に住んで良かった』『玉城町へ行って暮らしてみたい』と思っただけのまちづくりをすすめることこそが、一層激化する地域間競争に勝ち残るみちであるとの思いを強くしているところであります。

また、地方分権が強力に推進され、国と地方の役割が見直される中、『頑張る地方応援プログラム』といった国の施策が進められようとしておりますが、玉城の個性を活かし、真に町民に求められる行政サービスの提供を行い、次の世代が玉城町に愛着と誇りを持ち、将来に希望を持てる玉城町をつくりあげていくことが、私に課せられた責務であると考えております。

今、激変する社会経済情勢の中で、この変革を的確に捉え、19年度をこころ豊で活力のある満足度No1を目指すための元年と位置づけ、未来への展望が拓かれる事業を実施してまいります。

まずはじめに、安全で安心な地域づくりについてであります。

1つは、町民生活の安全・安心についてであります。大規模地震や風水害など、自然災害からの被害を最小限にするため耐震対策事業や防災対策の一層の充実を図るほか、町民生活の平穏を脅かす犯罪行為を抑制・撲滅するため、重点的かつ効果的な対策に、地域の皆さんと一体となって協働で取り組んでまいります。

2つ目は、少子・高齢社会に対応した地域で支えあう社会であります。本来は、引き上げるべき保育料及び児童館利用料を据え置きし、地域の皆様のご理解をいただきながら、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでまいります。

また、4月には、組織機構の見直しを行い、子育て総合支援室を設置して対応したいと

考えております。子育ては、家庭、学校、地域の関係者すべてが当事者意識をもって、地域総がかりで取り組んでいかねばいけないと考えます。そのために放課後子どもプラン推進事業に行政として全力で取り組んでまいります。

また、19年度には玉城中学校への空調設備工事を行うほか、外城田小学校への空調設計業務を予定しており、今後も順次教育環境を整えていきたいと考えております。

また、高齢者対策として郵便局との連携による独居老人の安否確認、配食サービスを年間通して行います。

さらに3つ目には、高齢化の進行や疾病構造の変化、医療の高度化・専門化などが進行していくことに伴い、身近な地域で適切な医療を提供できるよう玉城病院、ケアハイツ玉城並びに健康管理センターを含め地域福祉医療体制を一層充実してまいります。

次に、快適で住み良い玉城町の豊かな農村環境を保つことは、町民が安心して生活を送るために欠くことができません。そのため農地・水・環境保全向上対策事業により、地域活動組織の申込みを受け付け、優良農地の保全に取り組んでまいります。また、有田地区においては、宮川2期事業経営体育成基盤事業を推進してまいります。

また、上水道事業におきましては、安全な飲料水の安定供給に努めます。下水道事業では、昨年度に引き続いて宮川流域下水道事業、農業集落排水事業に取り組み環境整備に努めます。

第3には地域文化の薫りたつまちづくりについてであります。豊かな歴史・文化・伝統に恵まれたこの地域の文化的財産を今後まちづくりに活かしていくことは、私たちの責務であります。郷土文化を学べる環境づくりに努めるとともに、将来を担う青少年、若者の育成に町全体で取り組んでまいります。また、昨年度におこないました『田丸城築城670年』事業を一過性のものとせず、玉城町の歴史文化の情報発信を行い、郷土への愛着心の醸成の一環として引き続き事業を企画し取り組んでまいります。

第4には、地方分権の時代に相応した自立型地域社会の確立を目指した、活気あふれるまちづくり推進についてであります。地方をめぐる改革議論の中で、その中心となっていた三位一体の改革のうち、国庫補助金の削減と地方への税源移譲が一応の決着をみた今日、地方公共団体には、国への依存体質から脱却し、それぞれの自主・自立性を高め、独自の財源に基づく行財政運営が当然のこととして求められております。そのために、全国に先駆けクレジットカードの登録型による公金の収納を4月から開始します。

言うまでもなく、活力あるまちづくりの原動力は、地域の経済活動にあります。その中でも、基盤の整備につきましては、道路網の整備として中楽朝久田線、京セラミタ(株)周辺の町道幹線道路網の整備ほか、道水路整備事業を重点化して進めてまいります。

また、産業振興につきましては、景気の回復と交通の要衝といった好条件が揃っている

優位性を生かし優良企業の誘致を推進してまいります。

以上19年度の町政推進にあたり所信の一端を申し述べ、定例会開会の挨拶といたします。